

## 令和8年度フッ化物洗口普及事業実施要領

### 1 目的

むし歯は、減少傾向にあるが、いまだに罹患率は高く、全国的にみると大きな地域差が存在している。本県は他の地域と比べてむし歯が多い地域である。

県では、平成25年度から保育所・幼稚園、こども園の4・5歳児を対象にフッ化物洗口導入モデル事業、平成30年度からはフッ化物洗口普及事業により市町村のフッ化物洗口導入を支援してきたところだが、県の課題のひとつである12歳児のむし歯本数を減らしていくため、今後も、4・5歳児から小・中学校まで継続したフッ化物洗口の実施を推進していく必要がある。

推進に当たっては、フッ化物洗口実施をサポートする人材（支援者）の確保が必要であり、支援者には適切な技術と知識習得が求められる。

今回、学校でのフッ化物洗口実施推進の一助とするため、歯科専門職等により支援者に対しフッ化物洗口実施方法について研修を行うとともに導入支援を行い、学校での実施体制を整備する。

### 2 実施主体

宮城県健康推進課、宮城県口腔保健支援センター

### 3 実施場所及び対象

宮城県内小・中学校

### 4 実施期間

実施希望日から令和9年3月まで

### 5 実施内容

支援者研修会

保護者説明会

導入支援（物品準備、手順確認、導入後状況確認（技術的助言））

※実施方法、内容については希望を伺いながら調整。

### 6 その他（留意事項等）

- ・学校及び保護者（児童・生徒）の不安・疑問を除くよう十分な説明を行い、理解と協力を得た上で実施する。
- ・フッ化物洗口実施方法については、「フッ化物洗口マニュアル」に基づく。
- ・歯科医師等の指導の下、適切な方法で実施し、安全性を確保した上で実施する。
- ・フッ化物洗口実施に係る物品については宮城県健康推進課が準備する。
- ・導入年度以降の継続支援検討について、学校との調整を行う。